

# モダンリビング

ModernLiving No. 91 nov. 1993

婦人画報社

条件別  
家づくり解決法

住宅  
特集

## 新しい 住まいの 建て方



### ゆとりの個性派住宅

狭小敷地、変形敷地、傾斜地、etc.

### 厳しい条件の敷地に建てる

本物の家づくり

### 長持ちする住まい

土地と資金の有効利用

### これからの併用住宅

守りたいプライバシー

大切にしたいコミュニケーション

### 二世帯住宅の新しいかたち

完璧な家づくりのために

### 計画から完成まで徹底的にチェックする

ひと目でわかる

### いい間取り、悪い間取り

家を建てる時、気になること

### 建築家に聞いてみました

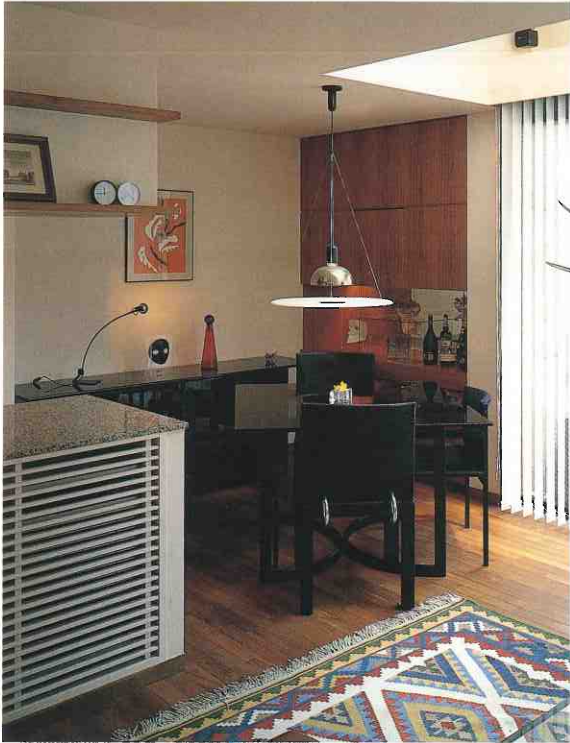
都会の密集地の小住宅は開放感と採光で勝負する



▶ 4階のアトリエを階段から見上げる。この家ではいちばん光が入る東側から奥まった位置にあるため、あえて部屋として仕切らずに窓を多く付けてできるだけ明るさを確保した。トップライトの光は階段を伝って3階まで届く。右手奥が寝室。北側、デスクの前の斜めになった壁面を利用して採光を。  
▼ 寝室から西側方向にアトリエを見る。写真では見えないが、階段部分の左手(南側)にも窓がある。



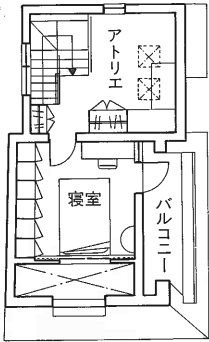
◀ 3階、河合邸のダイニングコーナー。右上が吹抜け、左手にキッチンが続く。コーナーの演出に個性的センスが感じられて。  
▼ 東側外観。敷地いっぱい建てられた。右手の階段で2階(親世帯)と3階(子世帯)の玄関へ。北側の屋根に見える手すりはベンチが造り付けられたバルコニー。4階の寝室から出られる。



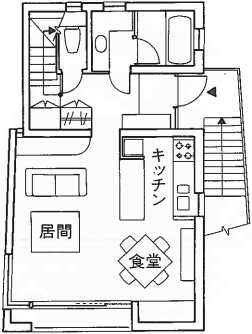
東京都目黒区の約25坪の土地に建てられた4階建ての二世帯住宅です。施主の河合さんはメンズファッションのデザイナー。ふだんは自宅で仕事をするため、長い時間を過ごす家に関しては「小さい敷地で無理だとわかっていながら、かなり細かい希望がたくさんあった」そう。これを実現したのは、以前に友人を通して知り合ったデザイナーの中村雅子さん。同世代の人に頼まれることが多いのですが、できれば家は若いうちに建てたほうがいいと思います。若いときだと試行錯誤しながらも自分で細かいところまで工夫できます。楽しみながら暮らしていく余裕があると思うから……とのこと。

まとまった採光が期待できるのは、道路に面している東側のみ。この東面いっぱい取った窓からの光のほかに、隣家と接している南側、北側にも、少し変形した敷地の形を生かしてスリットを入れたり小窓を付けたたり、採光・通風が図られました。トップライトや、道路斜線の影響で斜めになった壁面に付けたハイサイドライトからの光が下の階にも回るよう工夫され、どの部屋も明るい印象に。

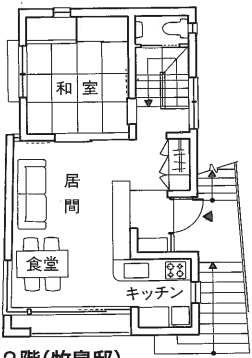
また、小さい家は壁や天井などの素材遣いが普通以上に目につくもの。空間はモダンでも、クラシックな感覚をうまく合わせたインテリアが好きだという河合さんご夫妻、古いもののよさを生かすためにも、素材は質のよい本物を遣うことが絶対条件で、雑誌などを見てかなり研究されたそう。この家が建ってからちょ



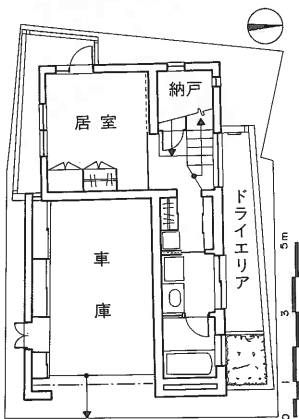
4階(河合邸)



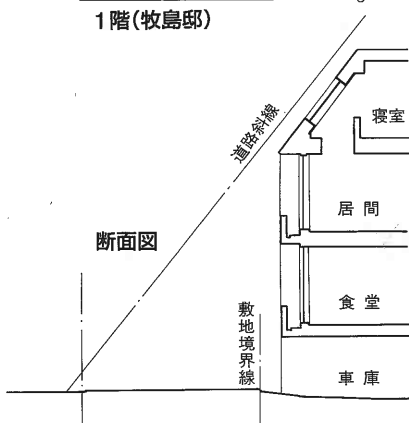
3階(河合邸)



2階(牧島邸)



1階(牧島邸)



▲・◀3階河合邸のリビングと4階寝室。寝室のベッドの背にある戸を開けると、リビングからの吹抜けを挟み、東側に付けたハイサイドライト。ここからの光は寝室の採光になると同時に吹抜けを通して3階のリビングも明るくする。リビングのソファはザノッタのものでノバ大島扱い、テーブルはB&Bのアランダ。キリムは草木染のアンティーク。



▶河合さんご夫妻と、お母様の牧島さん。河合隆文さんはファッションデザイナーだけでなくコーディネーターとしても広く活躍中。

うと半年ですが、実際にある程度任せてみると完成当時はわからなかった手入れの方法や疑問が出てくる様子。撮影当日も河合さんは中村さんに、熱心に相談や質問をしていました。若い施主と建築家の同世代ならではの気軽な問柄、「家は若いうちに建てたほうがいい……。」という中村さんの言葉が実感されます。

## DATA MK HOUSE

延床面積 169.51㎡(51.37坪)  
 家族構成 夫婦+兄+両親

敷地面積 82.71㎡(25.06坪)  
 延床面積 169.51㎡(51.37坪)  
 1階 49.20㎡(14.91坪)  
 2階 46.03㎡(13.95坪)  
 3階 46.03㎡(13.95坪)  
 4階 28.25㎡(8.56坪)

構造 鉄筋コンクリート造  
 規模 地上4階

所在地 東京都目黒区  
 用途地域 住居地域  
 家族構成 夫婦+兄+両親  
 工事期間 1992年6月～1993年3月

### 主な外部仕上げ

屋根 カラーベストコロニアル葺き 一部露出シート防水(砂付き)

外壁 コンクリート打放し トップコート塗装

### 主な内部仕上げ

#### 玄関(2階・親世帯)

床/400角石灰岩貼り  
 壁・天井/プラスターボード 寒冷紗貼り  
 アクリルエマルジョンペイント

#### 居間・食堂

床/チークフローリング張り  
 壁/シナベニヤ目透かし張り 珪の粉仕上げ  
 天井/プラスターボード 寒冷紗貼り  
 アクリルエマルジョンペイント

#### 和室

床/琉球畳敷き  
 壁/シナベニヤ目透かし張り 珪の粉仕上げ  
 一部コンクリート打放し  
 天井/シナベニヤ目透かし張り 珪の粉仕上げ

#### 玄関(3階・子世帯)

床/300角セラコッタイル貼り  
 壁・天井/プラスターボード 寒冷紗貼り  
 アクリルエマルジョンペイント

#### 居間・食堂・キッチン・主寝室・アトリエ

床/チークフローリング張り  
 壁・天井/プラスターボード 寒冷紗貼り  
 アクリルエマルジョンペイント

#### 浴室

床・壁/200角磁器質タイル貼り  
 天井/フレキシブルボード アクリルエマルジョンペイント

設計/中村雅子デザイン事務所

施工/宮川工務店

撮影/Nacása & Partners inc.

### 設計者のプロフィール

## 中村雅子

中村雅子デザイン事務所  
 東京都杉並区浜田山3-31-7  
 近藤ビル4FL  
 ☎03-3329-6391



1960年 東京都生まれ  
 フェリス女学院短期大学研究科・桑沢デザイン研究所卒業  
 ハウスメーカー勤務後

1984年 Casappo & Associates

1985年 Plastic Studio & Associates を経て

1989年 中村雅子デザイン事務所設立

●血液型 O型

●これまでに設計した住宅軒数 木造2軒 鉄筋コンクリート造1軒 混構造2軒

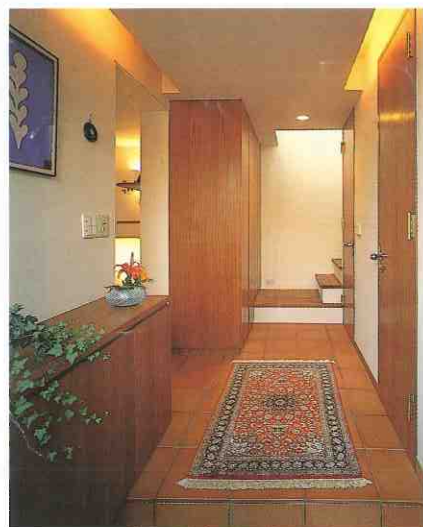
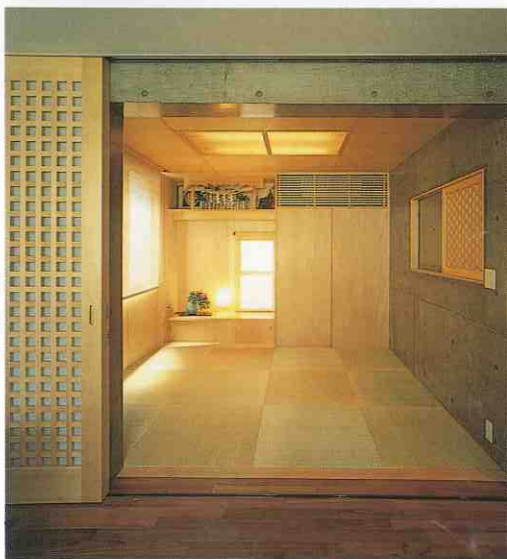
●現在設計を引き受けられる坪単価 木造70万～80万円  
 鉄筋コンクリート造130万～140万円

●あなたの建てる住宅について自己PRしてください。  
 町並みとのバランスを保ち、外から内部空間が読み取れる建物。自然の四季が感じられるよう、陽の光、風通しを考慮し縦と横とのつながりを大切にします。特に住人や客人が入りから玄関を抜けてリビングにたどりつくまでの動線に、この空間演出をしています。

●モダンリビング住宅紹介リスト 90号/P27～28佐藤邸



▲2階、牧島邸のリビングダイニングは、シナ材の明るい感じとチークの床のよさが生かされた。ご夫妻とも仕事をお持ちで、家にいる時間の長い河合さんとは生活スタイルが異なるため、完全分離型の二世帯住宅に。◀リビングから段差なくつながる和室を見る。「開け放して広く使えるようにして、こういう格子の戸を付けたかったの」という牧島さんの希望。敷地の形を生かして隣家との間に少し空間が出来た南側に、大きめの窓を付けた。北側、コンクリート壁の小窓は通風に。



▶▶3階、河合邸の玄関。正面の階段上方に付けた窓と4階、アトリエのトップライトからの光が降りてきて明るさを確保する。左手はリビング、右手のドアは手前が洗面室とバスルーム。シルクのベルシヤ絨毯は、ザ・ヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアムにある世界最大のベルシヤ絨毯と同じモチーフ。このモチーフは17世紀ごろにアルペル地方で織られていた大変珍しいものだそうだ。  
 ▶河合邸のバスルーム。北側の窓だけで十分明るい。

